



学院は創立26周年を迎えました

学院の近況

本格的な冬の到来を迎え、寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も1年間、講義や実習のほか、江差高看まつりなどにおいて、多くの関係者の皆様には学院運営へのご協力を通じて、学生の学びと成長を支えていただき感謝申し上げます。

今年1年を振り返り、当学院としては、特に「ハラスメントの再発防止」と「地域に開かれた学院運営」に努めてまいりました。

「ハラスメントの再発防止」については、年度当初に「ハラスメントの再発防止対策について」を定め、学生・保護者との情報共有、相談体制の整備、ほめ活や教員研修等を着実に進め、7月実施の学生アンケートの結果（別掲）では、概ね良好な回答を得ることができています。

「地域に開かれた学院運営」については、地域型オープンキャンパス「江差高看まつり」、檜山管内の関係施設等での地域実習、かもめ島の海浜清掃や江差病院クリスマス会参加といった活動を通じて、地域の方々に「現在の学院」を知っていただくとともに、学生たちにとっては、この地域の歴史や生活などを知る貴重な機会になったと考えています。

また、当学院の大きな課題である学生確保については、学校関係者評価会議のご意見を踏まえながら様々な取組を進め、10月には「推薦・社会人入試」を実施し、1月14日に「一般入試（Ⅰ期）」、3月19日には「一般入試（Ⅱ期）」を行うこととしています。

なお、Ⅱ期試験の願書の受付は2月18日～3月11日となっておりますので、高校生や社会人の方など、多くの方々の受験をお待ちしています。

3年生はいよいよ国家試験に向けてラストスパートです。体調に留意し、持てる力を存分に発揮できるよう、職員一丸となりサポートしていききたいと思います。（学院長：夕下 司）



令和6年度 第2回「ほめ活」の結果



みんな
素晴らしい！

今年度2回目の「ほめ活」です。

11月8日～22日を「ほめ活ウィーク」として実施し、全学生17名が参加してくれました。

「ほめカード」に書かれたコメントを見ると、それぞれの個性が現れていて「自分は学院でどのような存在なのか」「周りの人たちにとても必要とされている」ことを実感できると思います。

12月18日の表彰式では、大賞や団体賞、個人賞などで学生全員を表彰しましたが、教員やカウンセラーの石川先生から沢山のお菓子等の提供をいただきましたので、学生全員に賞状のほか、景品も渡すことができました。

今後とも、学生及び教員がお互いの良いところを認めたりほめ合うことで、相互のコミュニケーションの活性化や自己肯定感の向上を図っていきます。

来年度も実施します！

（学院長：夕下 司）



ほめ大賞と優秀賞のみなさん



ほめカード 347枚！（過去最高）

「人と生活を知る実習」 ～ 江差高看の魅力あるカリキュラム ～

1年生4名は、地域での暮らしを知ることを目的とした実習を10月に行いました。小中学校の保健室、役場、地域包括支援センター、高齢者施設に伺い、高齢者の方々から「住み慣れた家で暮らしたい」「施設で楽しく暮らしている」という思いを聴き、相手の思いを尊重して関わることの大切さを実感していました。

奥尻町国保病院では、道南MedIka（道南地域医療連携システム）を使い、患者情報が共有され町民が安心して暮らせることや看護師不足が深刻化していること、奥尻町役場では、漁師さんの1日の生活から起こりうる健康問題と生活指導の取り組みや住民同士の繋がりが強く支え合って暮らしていること、また、津波館の見学や語り部の方からのお話しを通じて、多くの町民が津波によってお亡くなりになり、人々の暮らしに大きな影響を及ぼしたことを学びました。

〔実習担当：坂上美智子
加藤 直美〕



まるやまデイサービス



ゆいま～る厚沢部



奥尻町国保病院

「自治会活動報告」 ～ 江差病院でのクリスマス会 ～



12月18日のクリスマス会では、2年生が「赤鼻のトナカイ」、1・2年生合同で「ひいらぎかざろう」をハンドベルで演奏しました。各学年、講義や実習がある中、空いている時間を見つけて、学生間で連携を取り合いハンドベル演奏やクリスマスカードの作成を行うことができました。当日は江差病院のデイルームで演奏を行い、クリスマスカードを患者様に手渡しました。患者様には柔らかい表情で演奏を聞いていただくことができ、とても良い時間を過ごすことが出来ました。

今年は練習時間が短かったため、来年はもう少し準備に時間をかけ、より良い演奏をお届けしたいと思います。

(学生自治会長：佐々木晴音)



「健康講話」

～ スクールカウンセラーによる講演 ～

11月12日に学院では初の試みとなる健康講話を開催しました。全学年・教員が参加し、当学院のスクールカウンセラーである諏訪麻依子先生から「相手も自分も大切に作るアサーティブなコミュニケーション」についてお話いただきました。

講演では、コミュニケーションの仕組みや話し合うときのポイント（主語を“私”にして気持ちを話す）、お互いの意見を出し合って、譲ったり、譲られたりしながら、双方にとって納得のいく結論を出そうとする「自他尊重的自己表現」などについて学びました。

グループワークでは、「私が大切にしていること（愛・お金・健康・正義・楽しみ…）」の順位付けをした後、各グループ毎にメンバー全員が納得できる順位について、アサーティブを意識しながら話し合うことに取り組み、相互理解を深めました。

参加後のアンケートでは「コミュニケーションの技法が学べた」「今後の実習に活かしたい」「私はこう思っていると伝え合うことでお互い納得の上で意見がまとまっていくことに心地よさを感じた」「グループワークが楽しかった」などの感想が出ていました。

(健康係：加藤直美)

1年生

1年生は、10月30日と11月5日に調理実習があり、糖尿病や腎臓病の治療食を皆で協力しながら作りました。ヨーグルトをマヨネーズ代わりにし、お米は水とホエーで炊くことで糖質制限になるなど実生活に活かせる学びがありました。

準備、調理、片付けなどに楽しく取組み、出来上がりは、学院長をご招待し、皆で美味しく頂きました。《1学年担当：金田いづみ》



2年生

2年生のカリキュラムも後半へとさしかかり、10月から12月にかけて、成人・老年看護学実習Ⅰ・Ⅱが終了しました。入院患者さんへの看護過程展開を実践する実習と、施設に入所・通所している高齢者への関わりを通し、地域における制度やサービスを学ぶ実習です。これまでの座学で学んだことが、現場でどのような形で実践されているのか、患者さんや地域の方々との関わりを通し、看護・医療制度について多くのことを学んだ実習になったのではないのでしょうか。

また、学内の講義はより専門的になり、注射の看護技術や、周手術期看護、小児のNICUにおける看護などについて学んでいます。実習終了後からは、各科目の単位認定試験のほか、各種業者模試を計画しています。今後は必修問題模試（8割以上の点数が取れなければ国試合格できません）などを予定しています。冬期休暇も、気分転換をしつつ、体調管理と学習に力を入れて欲しいと思います。

担任としても、3年生進級に向け尽力して行きたいと思っていますので、今後も、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

《2学年担当：竹田里美》

筋肉注射の演習 ▶



3年生

3年生は5月から行っていた各論実習を終え、11月18日より統合実習を行っています。これまでの3年間で学習した知識・技術・態度を統合する最後の集大成となる実習となります。ここまでご協力いただいた病院関係者の皆様をはじめ、受け持たせていただいた患者様には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

そして、いよいよ国家試験の合格に向けてラストスパートが始まります。「全員で合格する！」を合言葉に、放課後には図書室や寮の食堂に集まり、切磋琢磨しながら国家試験の学習を行っています。3年生の団結力、チームワークは素晴らしく、模擬試験の結果に一喜一憂しながらも、互いを奮い立たせて学習に望む姿勢に教員も刺激を受けています。

4月から始まった国家試験対策個別指導に加えて、非常勤講師や教員による12～1月に国家試験直前対策も予定しています。教員全員が一丸となり、学生支援に全力で努めてまいります。

合格に向けては、冬期休暇中にどれだけ学習できるかが重要となります。ご家族の皆様も引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

《3学年担当：楠原千景》



▲実践に即した演習場面

■ 学院生活に関する学生アンケート(結果) ■

令和6年7月に実施した学生アンケートの結果をお知らせします。

【実施期間】R6. 7. 22～26 【回答数】17人(回答率100%)	
【1】学院生活が充実している(楽しい、まあまあ楽しい)	16人(94%)
【2】自分自身に満足しているか(そう思う、どちらかと言えばそう思う)	12人(70%)
【3】自分が役に立っていると感じるか(そう思う、どちらかといえば思う)	14人(82%)
【4】今の自分が好きか(そう思う、どちらかと言えばそう思う)	12人(70%)
【5】教職員の対応で不快に感じたこと	なかった 17人 あった 0人
【6】ハラスメント相談員を知っている	16人(94%)

今年度は、7月、2月の計2回実施する計画です。

7月実施の結果は、学院生活の満足度は約9割、自己肯定感等は約7～8割となっています。また、教職員の対応で不快に感じたことがあったと回答した学生はおりませんでした。

引き続き、適切な教育環境の確保に努めるとともに、学生の皆さんには、ハラスメントなど不快に感じるがあった場合は、目安箱の活用や相談員に相談するよう周知していきます。

(学院長：夕下 司)

ハラスメントに関する相談や学院生活への意見等

学生の皆さんがハラスメントと思われることを受けた場合や、他の人が受けている場面を見た場合は、「ハラスメント相談員」に相談してください。

また、学院生活について、教員に言いづらい意見等がある場合は、「目安箱」に投函してください。

スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

- 日程 オンライン 1/23(木)、2/20(木) 16:30～18:00
対面 2/6(木) 14:30～17:30

- 予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

- ①氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪(すわ)先生

学院行事のお知らせ

- ◆学院閉庁日(年末年始) 12月28日(土)～1月5日(日)
- ◆保護者面談 1月15日(水)・16日(木)
- ◆学生始業 1月20日(月)
- ◆看護師国家試験 2月16日(日)
- ◆卒業式 3月3日(月)
- ◆令和7年度入学試験 一般I期:1月14日(火)、一般II期:3月19日(水)